

# 震災から12年 写真で見る まちは今

## 令和4年2月～令和5年1月の歩み

### 令和4年

#### 2月

- 新橋「来福寺橋」が幾世橋地区に開通

#### 3月

- 追悼の場「先人の丘」が請戸地区に完成
- 第1回 浜通り連携協定サミット in 浪江を開催

#### 4月

- 津島支所が開所し、津島地区で行政サービスを再開
- 幾世橋地区、大堀地区、浪江地区、苅野地区に防災コミュニティセンターが完成
- 水素供給低コスト化に向けたモデル構築・実証事業が開始
- 「福島国際研究教育機構」誘致のプロジェクトチームが発足し、浪江町商工会および民間団体から誘致に関する要望書を受領

#### 5月

- 浪江アートプロジェクト「なみえの記憶・なみえの未来」をお披露目
- 「浜通り地域デザインセンターなみえ」の開所

#### 6月

- イオン浪江店による水素で走る移動販売が開始
- 浪江駅周辺グランドデザイン基本計画の住民説明会を実施
- 国道6号線と請戸漁港を繋ぐ町道「高瀬請戸線」が開通
- 町の新たなシンボル「ふれあいセンターなみえ」が開所

#### 7月

- 第3回パリ協定とSDGsシナジー強化に関する国際会議にオンラインで参加し、浪江町のゼロカーボンへの取組を世界に発信

#### 8月

- 新町長として吉田栄光町長が就任

#### 9月

- 室原、末森、津島の特定復興再生拠点区域の立入規制緩和と準備宿泊が開始
- 「水素社会の実現に向けたパートナーシップ宣言」をしているアメリカ合衆国カリフォルニア州ランカスター市から市長団が浪江町を訪問
- 「福島国際研究教育機構」の立地が決定
- 「東北五大やきそばサミット in なみえ」を開催
- 浪江町立学校の閉校式・閉校のつどいを挙行

#### 10月

- 赤磐市と浪江町で「赤磐×浪江“ゆい(結)フェア、in KITTE」を開催
- 駅前に新たなワーキングスペース「ナミエシンカ」が誕生

#### 11月

- 「なみえスマートモビリティ」がグッドデザイン賞を受賞
- 「復興なみえ町十日市祭」と「大せとまつり」が3年ぶりに開催
- 浪江町の復興加速に向けた協議会を開催

#### 12月

- 福島国際研究教育機構についての住民説明会を実施
- 12年ぶりに請戸魚市が開催され、年末の風物詩がよみがえる

### 令和5年

#### 1月

- 震災後、初めての重要文化財防火訓練を実施
- 浪江町特定復興再生拠点区域の住民説明会を実施

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化、世界情勢の不安定化や市況の変動など不透明な状況が多い中、町政を進める1年となりました。

6月には町の新たなシンボル「ふれあいセンターなみえ」の完成、9月に「福島国際研究教育機構」の誘致が決定するなど、日々、復興に向けた取組が進められました。また、12月には震災後初めてとなる「請戸魚市」が開催されるなど町内に多くの人々が訪れ、にぎわいを見せる機会も増えた一年の出来事を振り返ります。



令和4年3月 先人の丘が完成



令和4年6月 ふれあいセンターなみえが開所



令和4年9月 浪江町立学校閉校式